

令和 7年1月28日

地域密着型サービス 運営推進会議 報告書

事業所名・・・医療法人 仁風会 雲陽の里

サービス種類・・・認知症対応型共同生活介護事業所

会議開催日・・・令和 7年1月14日

開催場所・・・雲陽の里

出席者

事業所	1 人	利用者	人
利用者家族		地域代表者	3 人
松江市職員		包括支援センター	1 人
知見を有する者		その他 ()	人

活動状況報告

1) 入所状況について

- ・現在入所者 8 名、1/17 に老健から 1 名入所予定。

2) 生活状況・活動報告

- ◎12/6 法人総合防災訓練の職員参加
- ◎12/20 法人施設での物品販売会で買い物をした。
- ◎12/23 忘年会、公民館から軽スポーツの道具を借りてゲーム等をした。
- ◎11 月法人研修「虐待防止」職員全員参加
- ◎12/21 認知症対応力向上研修@安来第 1 病院：職員 1 名参加
- ◎12 月～1 月法人研修「感染症」職員全員参加

3) ・インシデント及び事故報告（11 件）内容と対策について報告。

ベッドからの転落については対策後は起こっていないが、申し送り後に他科受診等の用意に気を取られて送られた事が実施されなかったなど職員の集中力を欠く内容もみられた事が反省点。

4) 身体拘束等虐待に関する報告について

- ・年末に大量の鼻出血を深夜帯に繰り返した方があり、耳鼻科医から鼻をかませないようとの指示もあった事から夜間のミトン使用を検討したが、八雲病院主治医より手が原因とする正当性に欠けると指摘があり実施はしていない。

意見交換

地) 年末年始は鼻出血の方の対応で厳戒態勢となっていた。次に出血があった時は輸血が必要になる可能性が高いと言われていて出血はいつも深夜帯に起きていたので、いつでも救急搬送できるように法人内の各部署にも協力をお願い文書を配布し、詰所内にも手順の指示書を貼りだし管理者は夜間の呼び出し時にすぐに対応できる体制を取っていた。出血時は血液が口腔内にも

降りて血餅になるため窒息の恐れがあり、止血が確認できるまでの 1 時間近くは目を離す事ができないために一時はミトンの使用を検討する程だったので、夜勤者はいつも以上に注意深く見守りを行う緊張状態が続いた。ご家族も高齢で固定電話のみの一人暮らし、緊急時には夜間でも電話を掛ける事を伝えていたが幸い再度の出血がなかったので一安心している。

地) ミトンとはどんなものか？

職) 鍋掴みのように親指とそれ以外の指が分かれるような形の手袋。鼻をかまおうとする様子も観察はされていたが、直接の原因なのか？手が使えなければ出血は起きないのか？と言われると断言はできなかったため実施はしなかった。

包) 家族が高齢との事だが双方に何かあった時の相談はできているのか。

地) 救急搬送先などの確認はしているが、細かい相談はできていない。

包) 事が起きた時に慌てないように早い段階から ACP（人生会議）についての話し合いをしておいたほうがいい。包括にも冊子がある。

職) 考えておいた方がいい内容など参考にしたいので数冊分けてもらいたい。

包) 後日施設に届ける。

※事業所確認欄

<input type="checkbox"/> 活動報告についての評価をうけることができたか	
<input type="checkbox"/> 要望・助言等を受ける機会を設けたか	